

120

視覚障害者に 必要な情報を伝え支援する

公益社団法人
福島県視覚障がい者福祉協会

令和5年6月現在



最寄り駅やバス停から施設までは点字ブロックで誘導され、入口には音声案内が導入されている。

取組主体

民間団体

対象者・受益者

視覚障害者とその家族

実施時期

昭和25年1月～

活動地域

福島県全域

キーワード

視覚障害者等への情報発信

取組
ポイント

福島県の視覚障害者団体であり、会員だけでなく、県生活支援センターの業務委託契約者、県点字図書館の指定管理者として、情報発信や相談業務を含む様々な支援を行っている。震災後には、被災障害者の安否確認や「しゃべる線量計」の開発に関わった。

取組の背景・経緯

- 1950年、社会福祉法人日本盲人会連合の下部組織として障害者の福祉向上と充実のため、福島県内の県北・県中・県南・会津・いわき・相双（浜通り北部）の6方部による福島県盲人協会として発足した。福島県点字図書館、県内唯一の養護盲老人ホームである「緑光園」の設立に協力した。
- 1997年からは福島県視覚障がい者生活支援センターの業務委託契約者として、2006年からは福島県点字図書館の指定管理者となっている。視覚障がい者生活支援センターでは相談業務や日常生活用具の紹介、貸与、購入の支援などを行っている。点字図書館ではボランティアの奉仕活動により製作された図書や雑誌の点訳版、音訳（録音）版などの貸出を郵送やインターネット利用で行っている。
- 東日本大震災後の県内では、視覚障害者も様々に被災した。原子力発電所事故により避難所を何度も転々とする中で、生活の伴侶である盲導犬がストレスで死亡してしまった人、視覚障害者であることを近隣者が知らなかったために、地域の一斉避難から取り残され自宅で飲食せずに数日を過ごした人、避難所で視覚障害者であることを認識されなかったため、白杖など必要な物資がなかなか届かなかった人などがいた。障害のある人特有の悩みやニーズには、周囲の人の障害特性に対する理解と「聴く力」が必要である。

取組の概要

- 県内の視覚障害者に対し、協会のホームページや会報等定期刊行物により様々な情報を提供している。視覚障害者が参加できるイベントの開催、支援するボランティアを養成するための活動も行っている。
- 視覚障害者用として開発・販売された避難持ち出し袋やベスト（着用して視覚障害者であることを明示）などを紹介し、利用啓発を行っている。協会として独自の製品開発も行っている。
- 震災後、指定管理者となっている福島県点字図書館では、津波のあった浜通り地方を中心とした利用登録者に対し安否確認を行い、支援に繋がった。

※震災当時の図書館長は、視覚や聴覚、身体に障害のある人の避難状況取材し、記録として著書を出版している。

工夫した点・特色

- 原発事故後、線量計が自治体から貸与された地域があったが、液晶画面表示のため、視覚障害者の使用には堪えなかった。このため、線量計を製造している企業と共同で、液晶画面に表示された数値を合成音で読み上げる「しゃべる線量計」の開発を行った。2012年1月から販売を開始し、県内の視覚障害者や福祉施設に約500台を無料で貸与した。現在でも浜通り地方で外出の際に使用している人がいる。また、県外居住の視覚障害者からの照会や購入希望もある。
- 県内の一部地区では、震災前に地域での組織活動が解散していたため、情報を発信しても必要な人に届かないケースがあった。視覚障害者の障害特性や災害時に必要な物資を理解し支援できる体制も必要であるため、現在では再び組織化に尽力し、様々な情報が届けられるようになっている。
- 支援センターでのサークル活動に合わせて避難訓練を行い、防災意識の啓発を行っている。



しゃべる線量計

取組の効果

- 定期的に開催されている交流サロンなどの行事やサークル活動は、視覚障害者の外出や社会参加を促し、共通の悩みを持つ者同士の情報交換の場としての役割も持たせている。
- 県内で行っている「同行援護従事者養成研修」では、バス会社など企業の協力を得て実践的な研修を行い、視覚障害者に対する社会の理解や協力を広めている。
- 県内における視覚障害者の相談援助の拠点の一つとして認知されている。

利用者の感想

- 震災後の安否確認とともに日常生活用具の希望調査があり、白杖やルーペが届けられ大変助かった。
(点字図書館利用者)
- 台風(令和元年台風19号)による大雨の浸水被害で被災した際、震災時と同様の状況確認があり、支援が届いた。
(点字図書館利用者)
- 「しゃべる線量計」の貸与により、外出時に自分で測定してその場で線量がわかるようになり、安心して外出できるようになった。
(しゃべる線量計利用者)

助成金など支援・協働にかかわる情報

- 通リゃんせ基金(ラジオ福島などが年末に行っているチャリティ・ミュージックソンなど一連の募金活動)

連絡・問い合わせ先

公益社団法人福島県視覚障がい者福祉協会

〒960-8002福島市森合町6-7

TEL: 024-535-5275 FAX: 024-563-1543

Email: f-shien@nifty.com

*掲載写真は福島県視覚障がい者福祉協会からの提供によるもの